

令和元年度 事業まとめ



社会福祉法人 おもと会

おもと園（就労継続支援B型・生活介護）

オレンジホーム（共同生活援助）

目次

- 1 全体総括（次年度に向けて）・・・・・・・・・・ 3
- 2 各事業について
 - 1) 生活介護・・・・・・・・・・ 3
 - 2) 就労継続支援事業・・・・・・・・・・ 5
 - 3) 共同生活援助・・・・・・・・・・ 7
- 3 年間行事について・・・・・・・・・・ 8

1 全体総括(次年度に向けて)

平成31年度は、更なる高みを目指すべき支援力の向上を目指して取り組んできた。

今年度も外部委員による施設オンブズマンからの評価を受ける。今年度は、1回の実施であった。オンブズマンの人達には職員の思いを伝えられており、その意見を尊重しながらより良い運営につながればと思う。

オンブズマンからの意見は、利用者さんと職員との関係性もよく、雰囲気も良かったと評価していただきました。

オンブズマンの評価は、支援現場において「利用者主体の支援」が定着してきていることを示されてきたと感じる。結果としてこの5年間を通して、利用者の方々も落ち着いた生活を送ることが出来てきた。

利用者さんの利用状況については、ほぼ定員通りの利用率になっている

これからも地域のニーズに応えられるように、関係機関との連携をはかりながら柔軟な対応をしていきたい。

就労継続B型では、ジュースの製造、内職、施設外授産(振興局清掃)圏域内関係機関への訪問販売等を行い、利用者工賃の向上に努めてきたが、昨年度同様、支援力向上を第一に挙げて研修会等を優先してきた中で、収益増に繋げていくことは厳しい状況でもあった。しかし、ジュース等の販路の開拓により売り上げも上昇傾向であったが、コロナウィルスの関係で観光客の減少が響き、年明けより売り上げが極端に減少してきた。そうした中で、GHへの配食が増えたことで少しは持ちこたえることができた。

生活介護については、軽作業と創作活動、レクリエーションを中心に行っており、特に創作活動では利用者さん一人ひとりの作品を大事にして発表の機会を作ってきたが、コロナウィルスの感染予防の観点から外出を控えたため、行事を中止する事態となった。

GHについては、「利用者主体の支援」を実践していくために、支援スタッフの研修や定期的な会議等を実施することで、互いの連携を重視した支援体制をとれるように取り組んできた。

そして、利用者さん一人ひとりの意思を大事にした支援に心がけると共に、職員は常に自己決定支援のあり方についても考えながら支援にあたってくれた。

GHの休日の生活については、コロナの影響で外出を控えてもらったことで、利用者さんにもストレスが見られるようになった。

しかし、利用者さんには状況の説明をして理解を図ってきたことで何とか大した問題も起こさず生活をしてきていた。

2 各事業について

1) 生活介護 定員16名(利用者数…18名) R.2年 3月現在

*内職作業

- ① 働くことに対する意欲がある利用者様に提供しました。
- ② 本人支給金の支払いを行いました。
- ③ 手、指先を動かすトレーニングの一環として取り組んでいます。

・靴下 内職作業…中村靴下

- ①糸を切る作業 ②ひっくり返す作業 ③そろえる作業
④ヨゴレ 穴あき 糸残り等、チェック作業

一つひとつの工程において、「これは自分の仕事だ」と思って取り組んでいます。

新しいことを受け入れるのは難しいですが、長年取り組んでいる活動には自信もあり、毎日の活動の一つとして、今後も取り組んでいきたいと思えます。

・農耕 うどん製麺 自動販売機

農耕活動では、季節ごとにさつまいも、ジャガイモ掘りイベントを開催しています。この活動は、たちばな支援学校との交流の場になっています。

土とふれあい、季節を感じる。おもと園を知ってもらえる機会のひとつ、地域の民生委員の方との地域交流の場としても積極的に取り組んできました。毎回、みなさんに喜んでいただけるイベントになっています。

うどん製麺は、月に2回程度おもと園の給食に、製麺事業からうどん生麺を提供しています。コシのあるおいしいうどんだと好評です。

今後は外注販売として、おいしいうどんを届けていきたいと考えています。

おもと園に設置されている自動販売機について 商品管理を行いました。利用者様の希望を取り入れながら、人気の缶コーヒー、自動販売機に入れる商品の買い出しに行きました。冬場 ホットのおしるこ、ココアなどは人気で、「売り切れになってたよ」と利用者さんがチェックしてくれます。

売り切れになった商品の補充などを、利用者様と一緒に行いました。

*創作活動

和歌山県福祉事業団の主催するアールブリュット和歌山展に参加しました。“ぎやらりーなかがわ”や“は〜とぎやらりー”での作品展示は、多くの方に自分たちの作品を観てもらえるよい機会になりました。

コツコツ取り組んだ作品に対して高評価をいただき、大きな励みになりました。

和歌山市ガーデンパーク・田辺の寿苑や花ご坊で、陶芸作品を展示 販売しました。自分たちがつくった作品を、購入していただけて とても喜んでます。

今後も 利用者様の作品を発表、販売できる機会をつくっていききたいです。

・レクリエーション

4月 いちご狩りレクからスタートし、あじさい・コスモスなど季節の花を鑑賞したり、カラオケなどを楽しむことができました。おもと園を卒業した仲間会に会いに串本にも行きました。大好きな寅さんの映画にも行きました。

それぞれのコースとも、年齢の差はありましたが、楽しく出かける事ができました。

天気の良い日は、散歩に行きました。障害者スポーツ大会、フライングディスクや、卓球バレーにも取り組み、優秀な成績を残す事が出来ました。

散歩やちょっとしたドライブなどの外出は、気分転換になります。買い物や喫茶・外食レクは大好評です。

はやつき農園が主催する、早月喫茶にも参加しました。頑張っている他の事業所の仲間たちに会い、自分たちも頑張ろうと思いました。

令和2年に入ってから、コロナウィルスの影響により、湯浅城温泉レクや、和歌山城天守閣喉のレクは延期になっています。毎日の生活の中にも、楽しみの時間と活動の時間のメリハリをつけ、退屈な毎日にならないようにしたいです。

また このようなたのしい活動のようすをおもと便りなどで、ご父兄の方々にもお知らせしていきます。

2) 就労継続支援B型

定員24名 (利用者数22名) 2020.3.31現在

*就労継続支援B型事業所では、利用者工賃のアップに向けた取り組みにおいて、施設外就労(複数の事業所と連携)を実施し、また障害の特性を理解するためスーパーバイザーにアドバイスをお願いして作業工程の見直しをした結果、作業意欲や作業効率に繋がられる利用者が増えています。昨今、新型コロナウイルスのため、不要不急の外出を控えているため、利用者の方の心のケアのためにB型事業所では購買部を始め就労にむけた販売マナーや金銭の授受等の支援を始めました。

今年度、ゼリー(みかん・きよみ・はっさく)がプレミアム和歌山に認定され、販売促進に繋がるようにB型支援員一同みかんの加工等に力を入れてきました。

*利用状況

体験の利用は1名

① ジュース関係について

・ジュース販売

各イベント(明恵ふるさと館・アレック・かかし祭等)にみかんジュースの販売を実施、みかんやカツサンド等も合わせて販売し売上金の向上を図りました。

プレミアム和歌山の取得により、とれとれ市場より販売依頼がありみかんジュース・みかんゼリー限定で昨年12月から販売や試飲販売にも参加しました。

事業所販売では昨年に引き続き小倉園・あいショップ・つくし会・ひびき会・美熊野福社会の店舗に販売しました。

搾汁のみ委託販売は共撰・事業所等特注を行いました。

和歌山県から優良職員表彰のワリワリ特注がありましたが、送料の値上げがあり値段を高くした為昨年より注文は少なくなっています。

ふるさと納税謝礼品の注文は同業者が多く出店しているため低迷しています。

・搾汁について

今年は雨天の為、糖度と酸が低く加工缶にするジュースが多くみかんの搾汁ができました。みかんの入荷量が約20t 搾汁は約6t

搾汁時に出る廃棄処理について、畑にリサイクルコンポを増加し、処理をしていましたが、今年は加工缶の廃棄処理が追いつかず産廃業者に依頼しました。

② 内職関係

オカザキの雑巾縫製作業については、縫製の事業を廃止されたとのことで、

縫製の依頼は4月以降ありませんでした。

ワコーの下請けにつきましても他の事業所へ委託されたことによる製品の減少がありますが、継続して作業を請け負っています。

③年間行事

レクレーション2回・花見・障害者スポーツ大会・忘年会を実施しました。

④業者別作業収入

振興局掃除	1,168,181 円
ワコー・オカザキ（縫製）	1,802,108 円
段ボールリサイクル他	9,430 円
ミカンジュース・ゼリー等	6,718,937 円
・31年度年間売上報告	9,698,256 円
・令和2年度年間売上目標	10,150,000 円
・31年度目標平均工賃	15,000 円
・30年度平均工賃	13,945 円

3) 共同生活援助

- ① 意思決定・表明支援ができるように援助や支援をしてきました。
個別支援計画に基づき、移動支援を希望する入居者の方や高齢のためゆったりとした生活の質を向上できるように個々が希望する支援を提供してきました。
- ② グループホームの利用されている状況（令和2年3月現在）
第1 オレンジホーム（定員6名）6名
第2 オレンジホーム（定員6名）6名
第3 オレンジホーム（定員5名）3名
第4 オレンジホーム（定員3名）2名
第5 オレンジホーム（定員7名）7名
- ③ 今年度の環境整備
第5 ホームに洗濯機1台追加
- ④ 利用者の状況（令和2年3月現在）
令和1年8月入所1名
- ⑤ ひまわりの会等より
令和1年10月 GH交流会 バーベキュー&温泉INすさみ 台風
の為中止
令和1年12月 有田圏域よりクリスマス会に参加
令和2年 3月 ひまわりの会総会

平成31(令和元)年度 年間行事について

行事名	日時	参加者
花見レク	平成31年 4月 2日	全員参加
イチゴ狩り	平成31年 4月 12日	利用者 5名 職員 2名
カラオケレク	平成31年 4月 16日	利用者 6名 職員 2名
買い物レク	平成31年 5月 10日	利用者 5名 職員 2名
障害者スポーツ大会	平成31年 5月 19日	利用者 5名 職員 2名
USJレク	平成31年 5月 23日	利用者 5名 職員 2名
B型 白浜レク	平成31年 5月 29日	利用者 19名 職員 7名
あじさいレク	平成31年 6月 7・8日	利用者 14名 職員 3名
じゃがいも収穫祭	平成31年 6月 15日	たちばな支援学校 中高生
アールブリュット特別展鑑賞	平成31年 6月 25日	利用者 8名 職員 2名
映画レク	令和元年 7月 30日	利用者 7名 職員 2名
おもと園 夏祭り	令和元年 8月 20日	全員参加
プロ野球観戦レク	令和元年 8月 24日	利用者 3名 職員 2名
御坊 電車レク	令和元年 9月 24日	利用者 7名 職員 2名
カラオケレク	令和元年 10月 17日	利用者 7名 職員 2名
コスモスパークレク	令和元年 10月 18日	利用者 6名 職員 2名
B型 ハーヴェストの丘レク	令和元年 10月 29日	利用者 20名 職員 7名
卓球バレー大会	令和元年 11月 21日	利用者 7名 職員 2名
マリーナシティレク	令和元年 11月 22日	利用者 8名 職員 2名
フライングディスク大会	令和元年 11月 24日	利用者 7名 職員 3名
忘年会(白浜)	令和元年 12月 3日	全員参加
共同生活分科会クリスマス会	令和元年 12月 14日	利用者 24名 職員 5名
串本レク	令和元年 12月 19日	利用者 8名 職員 2名
喫茶レク	令和元年 12月 21日	利用者 9名 職員 1名
映画レク	令和2年 1月 14日	利用者 4名 職員 2名
初詣レク	令和2年 1月 15日	利用者 10名 職員 2名

●まとめ

2019年度も生活介護では月に一度のペースでレクリエーションを実施しました。行き慣れて安心できる場所へのレクが多く、今回も落ち着いてレクを楽しむことが出来ました、2020年2月からは新型コロナウイルスの予防のため政府の方針に従い不要の外出を控え、レクも取りやめ 代わりにドライブに行くなどしました。

B型では全体行事とは別に旅行など2回のレクリエーションを実施しました。生活と同じく、3月に予定していたレクは今年は控えることになりました。グループホームのメンバーで年末やGWに温泉地に連泊することも皆楽しみにしています。今年度はいつもと違うホテルに宿泊しましたが無事に楽しむことができました。

恒例のスポーツ大会にも若いメンバーを中心に奮って参加しました、卓球バレー大会では三連覇を逃してしまい次回に向けて気合を入れなおしています。

